

バストス週報

第七一四号
昭和卅八年
十二月十三日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112
BASTOS
C. P.

ANUAL
CR. \$
1.000,00

幽邃 50

ストは是か非か

○「グレーベを是認する者は向側へ座つてくれ。否認する者はこつち側へ座ろし。」では只今か討論を開始する。

A 勤労者がシンジケートを作つて団体交渉をすることは結構だが要求を注入してくれなければストを決行するといふ脅迫がましくていやだな。

B ストに入つても一般社会に直接めいわくをかけるものならやむを得ぬといつておられるが、汽車、汽船その他交通機関などのストは許すべきでないと思ふ。

C 学校の先生方のストは許されぬな。消防隊のスト最中、火事があつても消しに行かなくなつたら、どうなるのだ。文教、治安、交通、などのストは認めないといふ事はできぬのか。

D 戦争中の兵隊がストに出て、勝手に戦線を放棄する事は考えられぬか。

E 近頃のようにのべつ幕なしにスト劇ばかり見せつけられてはやり切れん。勤労者は自分たちはかりの世の中の如く考へるとのだけはしからん。自分らの懐中はかり考へ、世間にその迷惑を及ぼすのを何とも思わぬいふようでは、ストに同情がでないばかりでなく、ストそのものを否定したくなる。

イ 勤労者といつても筋肉労働者もあり銀行員もあり、それぞれ職域によつて組合を組織し、公認団体として合法的に認められてはいるから、交渉が交渉しなかつたりする時ストを行うことも合法的に許されてはいる。違法ではない。

ロ 近頃のように毎月毎週毎日のように生活物資の急騰があり、資本家側の方で頬被してはいる以上、給料の値上を交渉するのは当然であり、応じてくれないう場合ストによつても解決するより外に生きる道のない労働者の最低の要求だ。近頃の世相で、騒ぐのは労働者はかりの世相に云うが、騒がねば生きる道がないではないか。

ハ 汽車をとめたというが、これは勤労者はかりの責任ではない。且つ資本家の不誠意は一向発表されてない。労働者の共闘に対する公平な責任が払われ

ALFAIATARIA IMPERIAL

着くすれのせぬマルヤマの仕立て



丸山洋服店

忘年会
新年会
宴会御引受

鯉の洗いと鯉こくは
当店のじまん
十二月と一月中は
フェジョアータ休みます



Hotel "Ussami"



うさみの食堂
おいしいこと天下一品

ホテル 宇佐美

Sapataria Bastos

あ正月の靴は
早川靴店

よいくつ 丈夫ななくつ
かるいくつ ぞして
安い

ていない。

A 承ると労働者のストは合法的だからストのため迷惑を世間に及ぼしても差支えないと云われるのか。

B 学校の先生はストをやって月給の増加を得て、けっけいだが、二日も三日も生徒をほっておいてよいものだろうかその間の空虚はどうして埋めるだろうか。

C 鉄道が止つたり、船の荷役が出来ぬのは国際的信用失墜の大原因だし、頻々たるスト騒ぎは社会情態の不安を拡大する。

D しかも国民へも社会へも一言の挨拶をせず、しゃめくとしてゐる。

E 僕に云わせると、物価と暇み合せた最低給料が払われなけりや、誰が何と

起ることは労働の是非を天下万民に知ってもらふ唯一の道だし、又進歩への道だ。ストがいやなら共産国へ行くよ

り仕方がない

F 民主主義国家でストを止める途はない。ストの合法化を決定したのは議会だ。その議員を選んだのはお互いだ。

G 温情主義の本増し牛乳で辛棒するがよいが、自分達の権利で堂々と受取るがよいが。

H 色々双方の御意見を伺いました。が、労資協調を更に進め労働者をも経営に参加させて利益の分配をするような新しいシステムもほつほつ現われるぞうです。今日、今日のスト騒ぎもいずれ下火になることでしょう。

I 今日、日米その他の先進国に於てもストが絶無というわけではなく、やはり時に火の手を上れることもあるが、物価に攻勢が二つのように続きますと、一年の内、数回この争議をくりかえすことになり、労働者勤務者はストで騒ぐことが面白いのではない、給与を時価とつり合つたものにしてほしいという要求をしてゐるのです。資本側もこれに同調すべきです。この頃のような物価攻勢はその原因をつきとめて対処するのではありません、いつまでも社会不安を緩和することはできません。それは政治問題で、強力な政治で根治しない限り、内訌して化膿するでしょう。

J ストもうるさい、善良な市民は車に迷惑も受ける、が物価が安定し収入が倍加するまでの辛棒です。そして洗車かよまつたら自家用車で旅行する二とです。そのためアスファルト道路があるではありませんか。

K 何や、たまにそれた人か。

(系音)

賣家!

VENDE-SE CASE

インフレ時代には不動産投資が最上の利殖法です。

目抜き街に良き売り家

家屋：70バルガス街ホリネス教会の上方

角より二軒目、煉瓦建七室

タツタ 20x40m 通学に至便の地

条件 フレストンにても構いません

但し即時現金にて70%、残金は一年後支払のこと

ドレ、移動のため至急売りたし、御希望の方はバストス学園矢野まで

夏休み期限

日語授業時間御知らせ

朝 8時より9時まで、シツキの生徒はなるべく朝をお送り下さい

昼 午後1時より2時迄

夜 午後3時半より4時半迄

8時より9時まで、各一時間免

日曜学校は夏休み中はありません

バストス学園 矢野俊平

関門海峡泳いで渡る

去る八月二日中央大学二年広仲武又君(21)及永島雄一君(21)は九州へ熱鉄旅行に出かけ門司和布刈神社前の岩頭から海へ飛び込み早瀬瀬戸の急流を泳ぎ切つて対岸御堂川へ、はい上った。海峡の最狭巨磨は七百米、潮流は時速十四キロ以上、旧式な帆船などせいで、はいエンジンも回しても流されてしまふ。二人の学生はそんなことを知らず飛込んだが幸い、潮流のかわり目で二十分ばかり静まる時にぶつかったの助かったが、あぶなく海底へ吸い込まれる処であった。

二人が海峡の中程にかかった頃神社の神官が発見し急を報じたので門司水上署の警備艇や海上保安部の巡視艇が現場にかけつけて保護をした。二人は約十分で泳ぎ切つた。

馬鹿なマネをしては困ると二人は警察で油をしぼられたが平気なもの、ホッラは一万メートル位泳ぐも、腰がへっていなかつたら、帰りに泳いでくるつもりだつたと答えた。ハヤトモの急流を知らなかつたらいい、渦にまきこまれたらオホアツだ漁師が笑つていた。

大人の伽倻

ジャンダーク 3

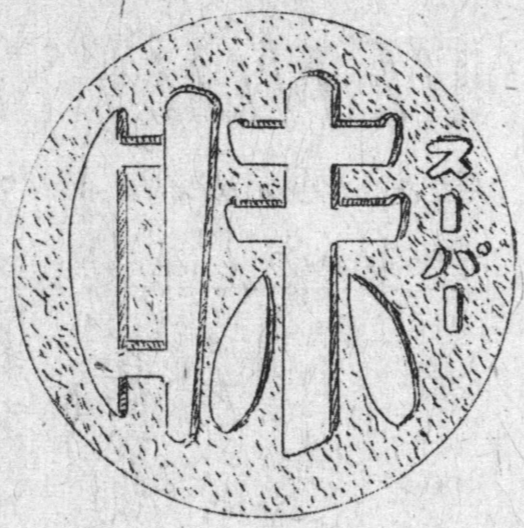
ジャンダークは狂信者
 ジャンダークは美人ではなかったが、年令が十八、九という花盛りだったから、美しく見えたに違いない。それに戦争に明けくれている時だから、化粧などはするひまもなかったが、彼女から発散する神々しさか圧倒的に兵士たちを魅了していた。前にも書いたとおりジャンダークは田舎娘で教養はなかったが、キリスト教的な信仰は熱烈で一種の狂信者ではなかったかと思われ、今日でも神がかりの人があちこちにあられるが彼女の場合は「神の命令で吾れはフランスを外敵イギリスから守るのだ」という火のような信念で行動する武人の型で表われたのである。日本人が戦争の頃よく使ったことは「一死報国」、ああいう気持とは遠くほんとうに神の言葉をきき、天使の姿を見たのだから……お伽倻という所以であるが……どうも仕方がない。

から、彼女の愛国心といっても、ただ自分が生れ育った地方が、南方アルマニヤック派の陣営に属していたから、北方の反対派ブルジョア派と戦ったまでのものである。尤も北方ブルジョア派は英、国と手を組んで南方に当たっているから、歴史的批判をすれば、南朝正統論見方も成り立つわけではある。

ジャンダークは女であり乍ら味方の先頭に立って突進する位の女だから弱いとはなかったろうが、一流の武芸者だったろうか、彼女は剣をふるって敵兵をなぎ倒したというような武勇をもっていない。当時の戦闘方式は集団突撃と、隊による防禦が主であったが彼女は、敵が隊を前線に集結しないうちに襲撃にうつって敵陣をかきまわしてしまふ戦法をのみ出しているが、このやみくも猪突猛進は、ひとえに神の加護を信じる火のような戦斗精神に外ならない。

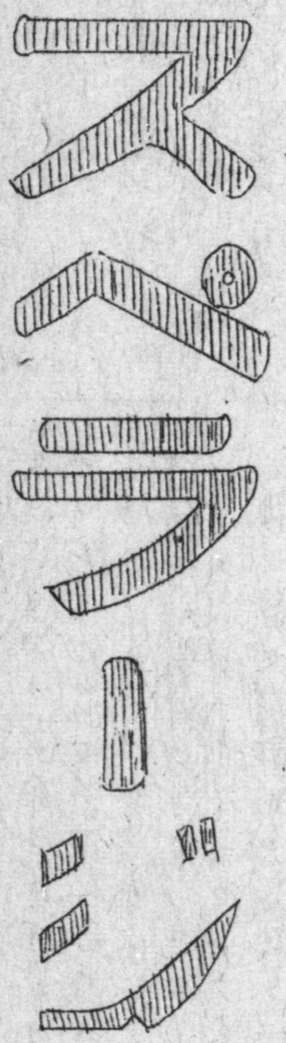
フランス全体がイギリスに比して弱かったのは当時よい指導者を欠いていたことにより、ことに南方アルマニヤック派に欠けていたのは戦斗意識であった。

マニというところへ現われたジャンダークの單身でも敵軍に突撃する、けな味な激しい戦魂に接し、ヒョロくさい南軍兵士が憤怒と立ち上ったことは特筆に値する。この点ジャンダークはえらい指導者だった。



発売元 遠藤貿易株式会社
 贈って便利
 貰って重宝
 市内 各商店に
 ございます

最高の化学調味料
 グルタミン酸ソーダ99.9%
SUPERAGI



ねんまのねんし
 年末年始の贈物には
 スーパー味が一番
 よろこばれます



賣家

レンガ建

元の西川薬局のあと

タッタ 24' X 40'

ロードビアリオ向側

いてんにつき

格安に賣り

ます

希望のお方は

アントニオ氏に

御面談

下さい

VENDE-SE CASA

Rua Presidente Vargas 413
Antonio Vicente da Silva

十二月一日池戸莊吟行 仙人掌パイネラ合同句会

場所かえてな魚釣れ草いされ	勝南
夏草に泣みて鯉の池五枚	古雪
裸の子秤りて訛す育兒録	快山
隣りより裸で帰るもら風呂	律子
分家する予定地は此処夏木立	米子
金雀枝や黒衣の尼僧の白き顔	南亭
金雀枝の花喰う虫は花の色	北眠
夏雲の湧きて鳥居を見て過さし	賢水
裸子のふりも脂も泥まみれ	糸音
頭に汗滴たよつつかう釣る	三丘
夏草の中堂お蚕神社	梅辰
靴音に守宮の走る事務の窓	寿和
連れ立ちて師弟睦ま夏木立	扶美
卒業の向近き庭のエニシ咲く	遠郎
厠の戸あけてたじろく大守宮	（夕庵） 菊子
カラ釣や見ている大も汗流す	羊鈴

大体中世時代の欧州人は宗教的にはカトリック一色に染まっているので、兵士の心情が素朴単純であったことは否めない。その兵士だから超人的なジャンタリクの姿が、神の御使ぐらいには映じたことだらう。彼女が軍旗を高く捧げて、号令をかける文句なしに神の御声として行動を起したという事実は、今日いうところの催眠術にかかっせしもう結果だったかも知れない。彼ら兵士には主様の命令よりジャンタリクの命令の方がはるかに快しかった。ジャンのそばに居れば必ず勝利があった。そこに異常な安心と勇気が生じ恐ろしい戦力となったのである。ジャンにとつて、今一つフランスになつたことは、彼女が脚光を浴びる頃一四二八年頃からイギリスと北方アルゴリ三派との間にオランダ地方の支配を廻つて仲たがいが起り、同盟関係に弛みが生じつた。あつた。敵の内訌に乗じたことは戦果的に大いに効果があつたわけだ。ジャン又は敵方に捉われて異端者として処刑されたが、その後フランス国内が静まりかたつてくると全フランス人の心にジャンヌを火刑に処したことの憤りと後悔の心が起り、一四五六年、ジャンヌの再審が行われ、旧裁判は一切廢棄され、今から四十三年前（一九二〇年）ローマ教皇が叙聖されて聖人の列に加えられた。元へもどつて、ジャンヌ火刑の悲劇を見て、彼女を売つたアルゴリ三派の者も、自分たちの同盟者が外国人であり、仲間フランス人と相克することの誤謬をさるとるに到り、一九三五年フランスの條約で、両派は手を下がることになつた。翌年シャルル七世はパリに迎えられ、フランス国民は一致結果して、ノルマンデー（北部海岸地方）からイギリス人を追放してしまつた。このようにして一四五三年、長くつがいた百年戦争もやつと終結したのである。ジャンタリクが処女の身で、あうくれたまねをしたことはフランスを統一させる大芝居の序曲として、歴史的にも大きな意義をもつものである。ましてフラツコだった南軍に、楯の強壯刺を与え、よく戦う兵たらしめたこと、全フランス人に強固な愛国心を起させた。今もフランス人にとつてジャンヌを限りなく敬仰させ、守護神として彼らの心の中に生きつづけさせて居るのである。世界のどの国の歴史を見ても、死活の斗争の中に故国を救う英雄の物語りに、ぶつかるが、ジャンタリクのように神がかりの少女が活躍する話は珍らしい。満州の名花川島芳子も軍成就の暁は、もう少し、何とか別な物語りをのこすであつたらうが、ジャンタリクの清純さに比すべくもない。(了)

フリゴリフイコウイルソン S/A

代理人

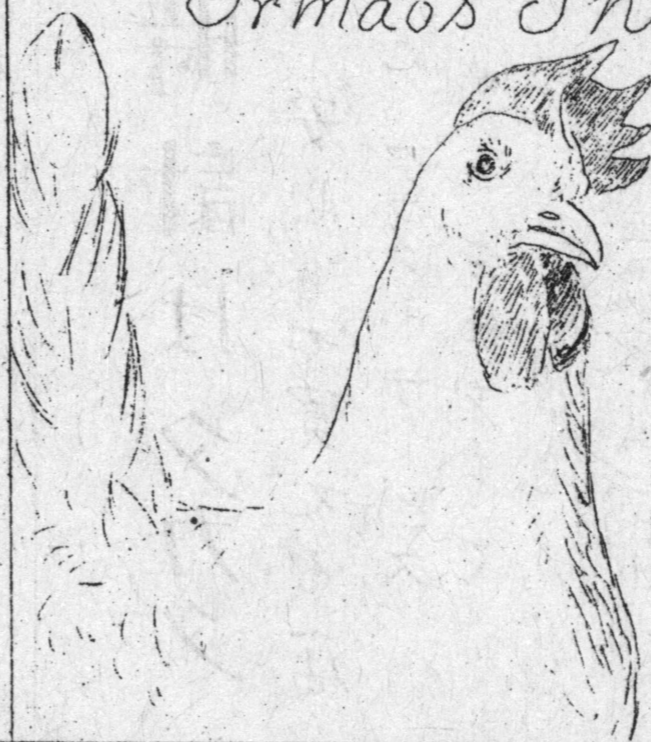
信太兄弟商会

癩鶏高価買入

多少に拘らず

御用命下さい

Irmãos Shida Ltda



年末サービス

雑貨 食料品 穀類

のみもの

年末御贈答品

カーザーニ

重道商店

口上

物価騰上りにて毎日のように
フレツソがかかります折柄
市価最低のお値段にて差上げ
る様努力いたして居ります
正月まぎわにならぬ御入用
品早目に御用命下さい

Casa Colonia

年末サービス売出し

かれへちま

59

米音

勲章をもらう

十二月五日十一時州副統領ラウドナツ
テウ氏(マリア出身PR党所属)が飛行
機でバストス訪問
昨年アテマル氏と組んでめでたく当選
されたが有権者の比率からいって氏に投
票した数の多かつた土地の一つにバスト
スがあった。一度御礼券を訪問したいと
思っていたと如才なく挨拶。ウナミ食堂
の歓迎パンチアップ席上で畑中仙次郎、西
静一両氏にアブリル(ハウリスダ)地理学協
会より贈られる勲章の伝達式があった。
説明によると、優秀なる日系市長の、それ
ぞれ父親であるので表彰されたものであ
った。尚ラウド氏はアテマル氏が大統領
に出馬するたの州統領を辞職することと
なるので、副より正に昇格する柵木タの
幸運氏である。尚氏は自費で慈善事業を
営み中々の功業者であるという。

夕ラードを警告すべし

十日前の事だが某区から中央の学校に
通っているS嬢、帰途独りで田舎道を歩
いていると、一人の半黒氏が現われ「お
れと一しよに逃げよう、さわぐとこれだ
とアッパカを見せるのでS嬢びっくり仰天
飛来た道へ一目散に逃げ出した。折よく
前方からカミオンが来たので助けても
うったこと、これはよく似た話かも
う一つある。やはりリ少女が脅かされたが
幸いに被害はなかった。
この両件とも白昼の事件、共にシツナの
道路である。ヒルマだからと気をゆるし
てならないことを教えられた事件である。
こうした場合すぐ警察に訴えることが
絶対必要。もし本が警察に出頭しなけれ
ば、文化協会の役員先へかけこんで事
情諮せは警察への連絡はすぐ取ってもら
える。訴へ出ないことは犯人を上げ上
らせることなるからくれぐれも御注意。
それから、婦人の一人歩きは、たとへ
ヒルマでもいけない。柔道の心得でもあ
って三人や五人投げとはす腕前があつて
も、好んで一人歩きは避けるべきである。
婦女子自身も注意。父兄も注意。夕ラ
ドを警戒せよ。男と見れば夕ラードと思
え。ちと之れはきびしいかな。

夜警員に感謝

去る十一月一はいで市街地の夜警は一
と先ず終了した。あやしかな泥棒も二人
か三人捕え、大体好成績であった。市民
協力して三ヶ月にわたり夜警を無事にす

道徳のつぎ

は瘠せた方がいいと皇太子さんの方を模
んだ。そうする宮内庁の方から先生進
議内容即ち原稿を提出せよというんだね
僕はずい断った。私は原稿など一切使
いません。それでいやなら、こっちもいや
だつてわけだよ。すると小泉先生は皇太
子の御指導が、ああ細江なら原稿いら
ぬと云つて下さつた。小泉先生は僕ら
慶応の学生だった頃の先生なんだ。
そつと話がきまつて今年二月の日神宮
外苑の皇太子御住居へ参上した。応接室
七m x 十m位の広さで中央に円い卓、メ
ーブルのドーナツだな。こつち側に僕と家内

オエスタード紙の

一九六四年度

アシナツテリお早く願います

養蚕家にとつてはよい新聞 上紙
賞大型 よんたあと役に立つ

一石二鳥

Estado de S. Paulo

オエスタード紙は一年分百二十キロ

約八キロ以上の紙代が浮いてし

まいます

早目に御申込み下さい

夜間営業中

バザールポンプ

ナタールお正月のプレゼント用品

年末大賣出し

エンジンマシン 本年中は旧
フレッソでさし上げます

高級 万筆 各種

乳母車 三輪車 レコード

カルトン

写真帖
寫真立
おもちや
ナタール用品



只今夜間営業中 です

年末大賣出し

かすわる。右手の方に小泉信先生、僕の
向側に皇太子。左手の方に侍従の人たち
三人程着席。
僕は当初訪日早々方々で歓迎されたが
之れを如何にカロベイタすべきであるか
という問題について考え、各所でこの要
旨を話したものだ。皇太子の前でも、
私の一着云いたい移民問題について反切
りをした。いと申上げたんだ。

日本は今工業立国で大景気だが、国土
と人口の問題で真剣に将来を憂れう人の
ないのは誠に心外だ。一米用の箱の中で
五十匹のオズミを養うと平均した飼育成
績が上るとして、同じ広さの箱七十五匹
の不ズミを入れ、五十匹の食餌と水を給
与するとその結果頗る思わしくないもの
となる。不揃不具が目立ってくる。今日
本の平方キロ当りの人口三五〇人だが、
平地に全部住むとすると平均五〇〇人余
となる。将来益々人口増加となると、土
地が人口を収容する限界に来るは必定だ
人類が生存する為めに生ずる自然の法
則がどういふ形であらわれれるか。革命の
虐殺か、それは判らぬが人口密度の調節
を徐々にでも計つておかぬ限り、吾々の
想像を超える惨事の起ることを予言する
ものである。

これに引かえ、ブラジルは日本の二十五
倍の面積をもつ国だ。ことにアマゾン地
域の人口密度は上流地方で一平方キロに
の三人、下流地方での五人、日本の面積
の十四倍の広さをもっている。しかも天
産豊かにして、勤勉な日本人の開拓者
入植せしむるならば将来の発展誠に期し
まらば、この辺のところから御道講をはじめて
時間制限は三十分ということだつたが、
皇太子の方から、君二時間半に及んでし
りして、とうとう、君二時間半に及んでし
まった。皇太子も中々勉強して居られ
彼、一寸とした学者だ。

アマゾンは逆流する

アマゾン河は南米各地に水源を有し今
日何百という支流をあつめて太平洋に注
いでいるが、雨期乾期の関係で、ある支
流の水が減ると、今まで下流に向つて流
れていた他の支流の水は減水した上流の
支流へ向つて逆流する現象が起る。又マ
ナオスよりもつと上流に於ても一日二回
海洋の満干をそのまま表わしている。そ
して大西洋に魚が、いろく、淡水た
るべきアマゾンに棲息していることも奇
妙な話だ。
太古のある時にアマゾン河は太平洋に
向つて注いでいたと称する学者もある。
アンデスの深谷を貫いてコロンビアかパ
ルカ、その辺の海に流れこんでいたが
火山の爆発のため高地となつて流れをど

Nº 13 - BOLETIM INFORMATIVO DA LIGA DAS ASSOCIAÇÕES DOS MOÇOS DE BASTOS - 7/12/63 - REDATOR:- Masahiro Ishikawa

MAGNIFICA NOITE DE ORATORIA -

O Concurso de Oratória, recente iniciativa levada a cabo pelo Departamento Cultural da L.A.M.B., coroou-se de pleno êxito .

É de surpreender-se o grande resultado que tivemos oportunida- de de presenciar, sobretudo, levando-se em conta o grande número de participantes, todos, em idioma pátrio - o português .

Talvez, aqueles que não convivem com a comunidade bastense, possam não entender e mesmo tolerar o que foi dito acima "todos em idioma português"-, porquanto é naturalíssimo que brasileiros natos, de coração verde e amarelo, usem o seu idioma próprio.

Porém, dentro do ambiente em que viemos vivendo, nesse ambiente tipicamente japonês, no que concerne à oratória, o idioma português era uma coisa quase impossível, e portanto relegada ao abandono. Não nos cabe criticar esse estado de coisas, nem tampouco atirar culpa a um e outro, por não ser nossa intenção tratarmos desse assunto.

Limitar-nos-emos a dizer que / esse frutífero resultado é prove-niente da emancipação cultural dos jovens que vem-se tornando patente.

Essa última realização serviu indubitavelmente, como instrumento de revelação de novos valores que aqui se acham ocultos à espera de uma oportunidade para fazerem eclodir uma nova era de integração cultural dentro da comunidade brasileira.

Dizemos novos valores, pois constatamos várias pessoas, algumas tão jovens, mas que nos surpreenderam com a maturidade de idéias e capacidade incommum .

O Boletim Informativo, associnando-se ao grande feito, felicitata os valorosos participantes do concurso de oratória, que merecem o mais justo elogio e os mais calorosos aplausos.

Concита, outressim, a todos os jovens de Bastos a se esforçarem / nessa parte cultural, impelidos por esse digno exemplo de bravura demonstrado pelos que se preocupam com justa razão, à causa da cultura da comunidade brasileira.

-oooooooooooo-

Obtiveram as melhores colocações / nos Concurso de Oratória os seguintes elementos:- 1º-Eiji Morishigue; 2º Luiz Yamamoto; 3º Toyohiro Ishikawa; 4º-Nildete da Cruz; 5º Masa-hiro Ishikawa; 6º Luiz Takeuti; 7º- Eliza Kajiyama .

JUSTO EXITO

Não podemos ufanar-nos do magnífico resultado e seria até esquisito dizer ser, somente, a Liga das Associações dos Moços, o empreendedor deste iniciativa coroadada de êxito.

Para a obtenção deste sucesso, foi necessário recorrermos ao auxílio de várias outras pessoas, principalmente no que concerne à boa organização deste concurso.

Assim, é nossa obrigação, antes de mais nada, agradecer a todas as pessoas que demonstraram real interesse e colaboraram eficientemente para o bom e eficaz andamento da maratona.

Entre essas pessoas destaca-se sobremaneira a sra. D. Tsuya Ohno Kimura que, com o seu inegável esforço em prol da mocidade, dedicou-se inteiramente ao mister, dispondo de todos os recursos para a boa organização, graças ao qual conseguimos obter tao significativo resultado.

Estendemos aqui a nossa real simpatia aos componentes da banca examinadora, todos êles da cidade vizinha de Tupa, que prontamente acederam ao nosso convite, demonstrando vivo interesse, vindo a compor banca eficiente das mais valiosas.

O julgamento, feito por essas altas personalidades, certamente surpreendeu a todos, porquanto, para muitos que desconhecem a oratória, o resultado foi inesperado, e estarrecedor, como afirmou o próprio examinador, porém, mostrou a todos o caráter rígido, impassível e justo dos ilustres componentes.

Diferindo das realizações anteriores em que prevalecia mais a nota que a própria oratória, com relação ao certame os ilustres examinadores, tão logo vieram aqui, mostraram o desejo de julgar, de acordo com o nível de cultura e idade de cada pessoa. Assim, fugiram êles do negligente e errado costume de dar notas supérfluas, não mostrando preferência por nenhum dos oradores, mas, sim, aliados a um interesse comum que é o de forjar por uma mocidade mais culta e sadia, julgando como autênticos juizes na defesa de uma causa comum.

Assim, este concurso de oratória encerrou-se na mais ampla ordem e magnificência, graças aos ilustres colaboradores e muitas outras pessoas que envidaram o maior dos esforços, demonstrando dessa maneira o idealismo irreprevel de forjar uma comunidade altamente cultivada.

0000000000000000

A V I S O

A Liga das Associações dos Moços de Bastos, tem a grata satisfação de convidar o povo de Bastos a assistir ao Concurso de Canto, que se realizará no dia 3 de Janeiro, em comemoração ao Ano Novo, no Salão Nobre da Cooperativa Agrícola de Bastos, com início às 20,00 hs.

Pede, outrossim, aos distintos participantes que façam as suas inscrições o mais breve possível por intermédio do sr. Masuo Mitsugui.

-\$\$\$\$\$\$\$\$-

A Excepcional obra de asfaltamento ensejada pelo Exmo. Sr. Prefeito, vem cada vez mais adquirindo forma, estando já a meio caminho da conclusão.

Plano merecedor do mais vivo apoio, é de esperar-se a sua breve conclusão, para satisfação de todos e progresso do Município.

-&&&&&&=

Honrou-nos a visita o ilustre Vice-Governador do Estado de São Paulo, Sua Excelência o Sr. Dr. Laudo Natel e magnífica comitiva figurando entre eles o nobre Deputado Estadual Dr. Diogo Nomura. Vieram com o fim de conferir a medalha cívica "EREGADEIRO COUTO DE MAGALHÃES", aos srs. Senjiro Hatanaka e Shizuiti Nishi, que fizeram jus àquela honraria, como pioneiros colonizadores de Bastos e pelos longos anos de úteis serviços em prol da comunidade.

00000000-

" To err is human;

To forgive is divine " -

入頁の下段よりつつく
 月夜で河面に浮かぶイルカがよく見
 え舟のあとになり先きになつてついで
 くるのだが、何か話かけよう泣くよ
 うな声かするのでしまいにうるさくなり
 カイでびしやりと水面を叩いた。土人の
 話によるとイルカに相手になつてはいけ
 ないといふのを忘れてつい相手になつた
 わけだった。イルカは人間が相手になつ
 てくれたと大よろこびで、舟のまわり
 につのまに集つてきたものやら七八匹の
 イルカが、いと賑やかに、はねまわつて
 いる。そのうち舟の底をくぐつて舟をも
 ち上げようとするので舟は左右にはたし
 く揺れる。あまりしつこいので、Y兵衛は
 に気味かわるく、なりわき目もふらふ舟
 を漕いで、やつのこと、夜明け前にマ
 ナウスの舟着きまで進りついで、あとで
 そのことを友人に話すと、舟に上つてこ
 なくでよかつた。舟はとひ込んで来て、
 抱きつかれて見ろ、息がとまってしま
 うぞとおとされた相だ。
 アマンを航行する船にはオオニの
 婦人は船長がやましく去つて乗船を拒
 むというが、やはり女に惚れる赤イルカが
 ついて来て、実にうるさく、どうかすると
 魔術にかかつて、船から飛びこんでしま
 う婦人があるから相だ。
 偽だと思つたら一度アママンのイルカ
 探検にいらいやい、もう一つ、黒イルカ
 と赤に隔つて病気になるた、R青年の話を
 しよう。所はアママンの上流マナウスよ
 り、もつと上流にモンテアレグレという地
 があり、そこに邦人で成功してゐる人が
 ある。ところがR青年という一人息子、
 もう婚期に入つてゐるので、いい嫁さん
 ないかと知人へたのんだりしてゐると、
 どうもR青年の様子が近頃へんだとい
 う。夕方から家を出ては深夜戻つてくるが顔
 色も悪く、めつきりやせて来た。
 ある夜、息子のあとをついて行つてみると
 R青年川岸に立つて何が合図をしてゐる
 小一時間も立つと、川辺の方から若い女の
 姿があらわれた。R青年はつかつかと女
 のそばへ寄つて、何やら身体を動かす動作
 はなれてゐるから、話声は聞えぬが、何
 となく鬼気を感ずる。姿は人間にちがひ
 ないが、冷気を覚えるので、尚も一心に目と
 はなさずに居ると不思議や、その辺一め
 んもやがつかつかと見えなつてしまふ。ふと
 ドボンという水音。そつとして家にかえ
 ると、向もなくR息子も帰つて来たので、
 色々伺いつめると、恐人があるといふ。ど
 この誑で名は何といふのかと尋ねると、
 それかは、さり判らぬのである。そのうち
 息子は床についた切りの病人になつてし
 まつた。精根をイルカに吸いとられたん
 だと土人たちはうわさした相である。
 (つづく)

ちがひする迷いユーピンが非常にふえま
 した。週報社へ廻つてくるので、郵函番
 の判つてゐるふんは、記入して寄へ返す
 ようにしてゐます。迷いユーピンは大
 いがいインヤの番号がないのです。ユーピ
 ン局の人は番号が記入してあれば、その番
 号通り箱に入れるが、名前によつて番号
 を思い出すことは、馴れぬと中々できな
 い。せい、バスターズは、配達しない局です。か
 ら、せひC.P.番号が必要で、あなたに
 出状する相手に必ず番号を記入するよう
 注意して上げて下さい。オレは有名だと
 思つても、局の人は知らぬので、そのおつも
 りで、出状者へ注意させることとす

受取人 差出人
 横内与三郎氏 日本長野松本市
 HIROKI KIKARO AYO PARANA
 KUDO HANISHI
 Colarona Sugibi R. 10 de novembro 284
 川上 勉 聖市 宮田
 竹下為人 心あたりの方はおいで下さい

Atenção Pais
 Terão inicio as aulas de
 admistão, Para 2ª Época, no
 próximo dia 16 de Dezembro.
 Com funcionamento no Ginásio
 S. José. Horario das 8 às
 12 Horas. Outrosim informa
 que funcionarão duas classes,
 sendo uma para o Particular,
 outra para o Estadual
 Professor

ユーピンご注意

購読者の方へ
 本年度の購読料を未払いの方は、なる
 べく十二月中旬に御支払下さい。勝手
 下り集金に廻れませぬので、御出
 しの節立より下さるようお願いしま
 す。

各位
 週報社

MOBILIARIA YAE GASHI

年末大賣出し 年末大サービス

お正月前に家具調度を整えて、よいお正月を迎えましょう

ツツブアカイマ いろいろ

コンプレクシオンデモトラ いろいろ

アールミカ (食堂用メザカテイラ組合)

正月用台所食器戸棚 各種

その他家具いろいろ

家具るい お求めの節は、その品に最後まで責任をもつ店でお求めにたることが大切です。当店は決して、その場限りの商賣を致しません。御安心の程を！

八重樫家具店

コチア倉庫上隣

Arviso de Cine-Bastos

十二月十三日(金) 八時 十四日(土) 九時半 *A vida em MARU-NO-UCHI*

東映フクロ **東京丸の内** 高倉健 大村文武 男性のタイフは十人十色
佐々木良子 小林裕子 愛の告白も千差万別
小林哲子 千秋実 源氏鶏太の傑作

十二月十五日(日) 九時半 十六日(月) 八時 *Donne depuis de Chonan*

松竹大型 **泣いて笑った花嫁** 野淵晴子 倍賞千恵子 藤山寛美
天然色 吉田輝夫 佐野周二 高峯三枝子
京の、レン？ 東京の恋人、 松竹大歌劇華やかに総出演

十二月二十日(金) 八時 廿一日(土) 九時半 *Quel Obsession*

松竹大型 **河** 岡田茉莉子 東野英治郎 断田祥子 沢村貞子
天然色 山村聡 杉浦直樹 川金正直
田村高広 滝沢修 水上令子

原作 井上靖 中村登監督 岡田茉莉子の妖艶細爛豪華な恋の一生

十二月廿二日(日) 九時半 廿三日(月) 八時 *Julgamento no inferno*

東宝スミカ **地獄の裁きは俺がする** 片岡千恵蔵 本間千代子
天然色 鶴田浩二 江原真二郎
群狼の毒牙に魅える二挺拳銃 松方弘樹

十二月廿四日(火) 廿五日(水) 両夜共 八時より *Sado, Jha Romantica*

東映スミカ **佐渡情話** 美空ひばり 花房錦一 星美智子 三宅邦子
天然色 天田俊明 待田京介 桜京美 夏川静江
ひばりと井に 夢の島佐渡へ 唄で彩る観光案内

十二月廿九日(日) 三十日(月) 富士に立つ若武者 大川橋蔵 三田佳子 榎本美津子

十二月廿七日(金) 廿八日(土) 裸身の聖女 笠置シズ子 青山孝子 穴戸鏡